



『俱会一処』

関谷沙羅師



私にとって8月は様々な思い出に満ちています。8月といえばやはりお盆(日本では)。猛暑の中、御門徒宅をお参りして巡りました。開教使としても、去年の8月はいよいよ渡米という月でしたし、遡ること3年前も、開教使養成の研修「IMOP」受講のため、同じく渡航準備をしておりました。

そのIMOP研修の中で、後にもふんわりと心の中に残り続けた話がありました。

「開教使は愛する人をなくしていく役割」という言葉でした。開教使になって当初は知っている方も少なく法事や葬儀を必死に行わせていただくばかりですが、年月が過ぎるにつれ、様々な方々とより深く知り合うため、お世話になった方々が亡くなる場面が増えるのです。開教使は常に別れに直面し、続けるほど本当はそれが辛く感じるんだ、と正直な気持ちを伝えてくださったのです。開教使のメンバーに対する愛情を感じました。

3年前、そんな淋しそうな愛情深い顔を覗かせたのは花山勝清開教使でした。先生は今年3月に会合でお会いした時「いつでも何でも相談してね」と新人開教使を勇気づけてくださり、私はどんなに心強く感じたことでしょうか。これが先生と今生でお会いできる最後になるとは思いもしませんでした。

この7月は、賑やかなイベントの一方で、メンバーや私にとっても幾つかの辛い別れがありました。華やかな時期ゆえに際立つように感じたのでしょうか。先生の言葉を何度も噛み締めることになりました。

釈尊は私達には四苦八苦という根本苦があると教えられました。四苦は生老病死であり、八苦の一つには愛別離苦といい愛する者と別れなければならない苦しみがあります。私達は、生まれた者は、愛する者も必ず死ぬ、と「知って」います。しか

8月の予定

- 1日—4日 新井俊一先生レクチャー
詳細は次のページ
- 7日 10時 原爆被爆者追悼法要
ご法話 新井俊一師・博士
相愛大学名誉教授
10時45分 日本語法要
新井俊一師
- 14日 10時 家族法要
10時45分 日本語法要
- 21日 10時 家族法要
10時45分 日本語法要
- 28日 10時 家族法要
10時45分 日本語法要
- 18日 1時半 日系マナー法要
- 23日 10時半 敬老ホーム法要

し、死にたくない、別れたくないという、内から湧き上がる強い思いは容易に減ることなく、苦が生まれます。私達は仏様ではなく、苦悩を感じずに過ごせるようにはなっていないのです。

愛する方を亡くされたご家族を中心に多くの方々が、老病死に、愛別離苦に、傷まれた時だったことでしょう。しかし、親鸞聖人のみ教えを聞かせていただく私達には、苦悩するいのち(私)に涙し、「われにまかせよ、わが名を称えよ、浄土に生まれさせて仏にならしめん」と、はたらきづめで喚んでくださっている阿弥陀如来がいらっしゃるのです。臨終はあっても死はないのです。

死なせない、必ず生まれさせる、と仰る阿弥陀如来の願力によって、浄土に生まれた方々は、既に苦を離れ弥陀同体の仏となって、私達にはたらいてくださっています。

浄土は生死に縛られない広大な真実の世界。私達には「俱会一処」といい、悲しみを越えてともに会うことのできる温かく安らかな世界が恵まれているのです。そして、今ここでともに阿弥陀如来の救いにあずかっていると知らされる時、報恩のお念仏がこぼれ出るのはです。南無阿弥陀仏



会長の挨拶

別院理事会 会長 星野アラン

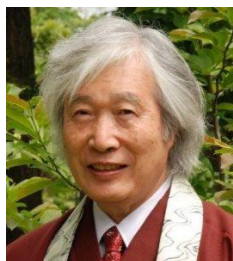
別院の皆様は夏の休暇を楽しんでおられますか。別院の先生方とスタッフは先月はとても忙しい月でしたので少しスローな期間が必要です。まずはじめに sacrament であった 1 週間の BCA のユース・アドボカシー・コミティーのリトリートに 4 人のユースを送り、このユースはユース・ミニスター・アシスタントになる過程です。4 人はアマンダ H, ジョシュ M, アレックス S, とマ

リッサ W です。



MA のマツとローザリーが 7 月 15 日に本願寺にて得度を受けました、おめでとうございます。

私達の一番大きなイベントといえば盆おどりです。ことしのお盆は大変成功でした。踊りの先生方、グエン・フロレンス、クリスタル・インゲ、セイコ宮原、タイラー森口、ステシー中田、はつね時田、ニコール清水、ゲール須坂、サラ梅田、スザン梅田、マリアン・ウィック、17 曲もの曲を教えてくださいました。最高の天候にみまわれメンバーや友人たちがフードのブースのシフトをして、バンダーより特別な寄付も受けました。初期の評価ではこれまでの最高になったようでとてもエキサイトしています。



最後にあとイベントが 2 回ありました。一つは北米区の YBL のリトリートに 28 名の若者が別院で集まり週末をすごしました。柿原・関谷両先生のウォークショップ、討論会、敬老ホーム訪問、白河仏教会の盆踊りなどの活動がありました。数名の大人がヘルプしました、マリー・小財ルーク、ハワード・ルーク、ステフ小島。

最後に新井俊一博士、相愛大学名誉教授、が日本から来て頂き、英語と日本語のレクチャーをしてくださっています。新井先生は新しくリノベートした別院隣の小さいほうの家に滞在さ

れておられます。このリモデルには大変な時間と仕事でした。メンテナンスの方々に感謝します。アンドレア真野、サイレス本名、クレグ中島、ギャリー柴田。
素晴らしい夏をお過ごし下さい。
合掌、

新井俊一師のレクチャーが8月に予定されています

日本語セミナー

8月1日—2日 10時—12時

8月3日 1時—3時

8月4日 10時—12時

皆様お誘いあわせご出席ください。詳細は日本語法要にて、また事務所までご連絡ください。

オライオン・ハウス

別院のメンバーがホームレスの若者に毎月の夕食のサービスをはじめて7年目になります。多くのメンバーに支えられ奉仕してもらって来ました、感謝します。まだまだボランティアの人が必要です。8月19日、10月21日、12月16日があいています。私たちはとても恵まれていて家があり、シャワーが使えます。ぜひ他の方を助けましょう。興味のある方はマイク寺本まで連絡してください。

婦人会便り

婦人会メンバーの皆様、夏を楽しんでおられますか。今年は去年のように暑くなく過ごしやすい日々です。



盆踊りでは多くのメンバーが野菜の準備、焼きそばブース、クラフトテーブル、そのほかのブースでご奉仕されました。お疲れ様でした、ありがとうございます。お陰さまでフードも売り切れました。来場の方々の楽しそうな様子はうれしいものです。

今年もKSPでは婦人会メンバーの方々が色々な分野で子供たちに教えてくださいました。お時間をさいてくださりありがとうございます。子供たちはとても喜んでいました、このような貴重なお得意の

分野を婦人会会員にもぜひ教えてもらいたいと願っています、もしクラスを出来るようでしたらお知らせください。

「ウォーク・フォー・ライス」に参加された方々と寄付をされた方々に感謝します。1080ドルの寄付が別院メンバーより寄付されました。この寄付はアジア系の方々のフード・バンクに使われます。

ホームレスの若者をサポートするオライオン・ハウスに別院が夕食を提供して7年になります。婦人会では定期的にご奉仕しています。婦人会メンバーと一緒にご奉仕してみようという方はご連絡ください。他のメンバーとお近づきになるいい機会です。この有意義な活動をご支援くだ



さい。

今年の**44回米国仏教団婦人会連盟大会**がベルビューにて開催されます。これは西北部主催で、皆様のご支援をおねがいしております。大会は10月7, 8, 9日でシアトルからの送迎もアレンジしております。日本語の基調講演はオレンジ・カウンティー仏教会よりワンドラ睦師です。そのほかにも多くの日本語ウォーク・ショップも用意されております。毎日曜日にはレジスターのテーブルも用意されています。またオンラインでの申し込みも出来ます。ご質問などは事務所までご連絡ください。



44 回米国仏教団婦人会連盟大会

日本語基調講演

ワンドラ 睦 師：「南無阿弥陀仏にいだかれて」

それぞれの人生において、私たちは幾多の出会いを繰り返しています。そのなかでも最も不可思議な出遇いは仏さまとの仏縁ではないでしょうか？ 浄土真宗のご開山、宗祖親鸞聖人さまは「思いがけずこの真実の行と真実の信を得たなら、遠く過去からの因縁をよろこべ。」と『教行信証』「総序」で述べられています。私と浄土真宗との出遇いをお話ししながら、名号、南無阿弥陀仏にいだかれて生かされる喜びを皆さまと一緒に味わいたいと思います。

経歴

京都出身、京都女子大学英文科（学士）卒業。京都中央仏教学院専修科通信教育修了後、2006年に開教使補佐（MAP）として、オレンジ郡仏教会（OCBC）にて原田マービン開教使の指導を受ける。2010年に米国仏教学院（IBS）修士を得て、2012年には京都龍谷大学大学院文学研究科真宗学専攻、修士修了。2015年に同大学院真宗学博士課程を博士論文提出資格者として修了。5年間の京都留学中に学階補教および布教使取得。2015年9月1日付けにてOCBCに着任